

## PRIMERGY TX200W S2 使用上の注意

このたびは、弊社の PRIMERGY TX200W S2 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
本サーバをご使用になる上での注意および追記事項がございますので、本書をよくお読みの上、ご使用願います。

平成 18 年 6 月  
富士通株式会社

### 【目次】

1. 添付のマニュアルについて .....	2
2. Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 について .....	2
3. 高信頼性ツールに関する注意事項 .....	4
4. コンソールリダイレクションについて .....	4
5. シリアルコネクタについて .....	4
6. ServerView または RAID 管理ツール (Global Array Manager) のインストール・アンインストール後 にエラー画面が表示された場合について (Windows Server 2003 の場合) .....	4
7. ServerView が状態表示ランプ／故障ランプを点滅させる不具合について .....	4
8. ServerView Console プログラムの注意について .....	5
9. PG-140D1 を搭載したシステムについての注意事項 .....	6
10. 「安全上の注意: B7FH-A033-02」についての訂正事項 .....	6
11. 「PRIMERGY TX200 S2 梱包物一覧: B7FH-A126-03」についての訂正事項 .....	7
12. 「PRIMERGY TX200 S2 ユーザーズガイド: B7FH-3021-03」についての訂正事項 .....	7
13. 「PRIMERGY TX200 S2 プレインストールドライバ情報: B7FH-3011-02」についての訂正事項 ...	14
14. 「PRIMERGY TX200 S2 (Windows Server™ 2003 x64 Editions 用) ユーザーズガイド: B7FH-3591-01」についての訂正事項 .....	15

## 1. 添付のマニュアルについて

本サーバに添付の記載されている「TX200 S2」の表記は「TX200W S2」と読み替えてお読みくださるようお願いいたします。

また、本サーバではラック変換機構をサポートしておりませんので、マニュアル内のラックまたはラック搭載オプションに関する記事は無視してお読みいただくようお願いいたします。

## 2. Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 について

Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 および Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 x64 Editions（以降、Windows Server 2003 R2 と略します。）をご使用になる場合は、本紙に記載している留意事項をよくお読みいただき、ご使用ください。

### ■添付ソフトウェアの留意事項

本サーバ添付ソフトウェアの Windows Server 2003 R2 対応状況は下表の通りです。

Windows Server 2003 R2 をご使用になる場合は、以下の URL にあるダウンロード検索より最新版をダウンロードしてご使用ください。

添付ソフトウェア	Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003 R2 x64 Editions
ServerStart（自動インストール）	×（*1）	×（*1）
FM Adviser	○	×
UpdateAdviser	○	×
DSNAP	○	○
PROBEPRO	○	—
Chronoworker/S	○	—
RAID管理ツール	○	○
Tape Maintenance Adviser	×	×
RAS支援サービス	○	○
HRM/server	○	○
ServerView	×	×
REMCS	×	×

○：動作可    ×：動作不可    —：対応予定なし

\*1：ドライバは以下のURLにあるダウンロード検索より最新版をダウンロードしてご使用ください。

[ドライバ&修正プログラム]

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

### ■Windows Server 2003 R2 インストールについて

本サーバ添付の ServerStart では、Windows Server 2003 R2 に対応していないため、ServerStart を使用してインストールすることはできません。手動にて Windows Server 2003 R2 をインストールしてください。

Windows Server 2003 R2 を手動インストールする際は、「PRIMERGY TX200 S2 ユーザーズガイド：B7FH-3021-03」の「第 4 章 OS の手動インストール」または、「PRIMERGY TX200 S2 ユーザーズガイド（Windows Server 2003 x64 Editions 用）：B7FH-3591-01」の「第 3 章 OS の手動インストール」中の Windows Server 2003 のインストール方法、及び次の留意事項を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

## ■Windows Server 2003 R2 インストール時の留意事項

Windows Server 2003 R2 インストール時の留意事項は、以下の URL から「一般的な留意事項」の「インストール関連の留意事項」を参照してください。

[Microsoft Windows Server 2003 R2 の動作確認情報]

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/wins2003-r2/>

[Microsoft Windows Server 2003 R2 x64 Editions 動作確認情報]

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/wins2003-x64-r2/>

### 1. Windows Server 2003 R2 のインストール

Windows Server 2003 R2 インストール時には、添付 CD-ROM1 枚目「インストール CD-ROM Disc1」のインストール終了後に、添付 CD-ROM2 枚目「インストール CD-ROM Disc2」のインストールを要求されます。ここで、「キャンセル」した状態で使用しないでください。

Windows Server 2003 R2 の場合、Windows Server 2003 R2 で提供される固有機能をインストールすることにより、マイクロソフトのサポート対象となります。

そのため、添付 CD-ROM2 枚目「インストール CD-ROM Disc2」のインストールが終了していない状態はマイクロソフトのサポート対象外となります。

必ず、添付 CD-ROM2 枚目「インストール CD-ROM Disc2」までインストール作業を終了してください。

### 2. 「ハードウェアの管理」機能のインストール

Windows Server 2003 R2 上で ServerView を使用するときは、「プログラムの追加と削除」-「Windows コンポーネントの追加と削除」において、「管理とモニタツール」の「ハードウェアの管理」をインストールしないでください。

### 3. Active Directory 機能のインストール

既存の Active Directory 環境に Windows Server 2003 R2 のサーバを追加のドメイン コントローラとして構成する場合、Active Directory のインストールウィザード (dcpromo) の途中で以下のメッセージが発生する場合があります。

「事前に既存の Active Directory のスキーマを拡張しておいてください。」

本メッセージが表示された場合は、下記の手順を実施してください。

Windows Server 2003 R2 の追加のドメイン コントローラを構成する前に、Active Directory で adprep を実行し、スキーマのバージョンを更新します。

Schema Admins 権限を持つユーザアカウントでログインして以下の手順を実施してください。

- 1) Windows Server 2003 R2 の添付 CD-ROM2 枚目「インストール CD-ROM Disc2」を、既存ドメインのドメイン コントローラの CD-ROM ドライブに挿入します。

※スキーマ情報を効率的に伝達するために、FSMO コンピュータでの実施をお勧めします。

- 2) コマンド プロンプトを開き、CD-ROM の以下のパスへ dir で移動します。

[CD-ROM ドライブ]: ¥CMPNENTS¥R2¥ADPREP

- 3) adprep /forestprep と入力して実行し、C キーを入力した後、Enter キーを押します。

adprep の実行後、スキーマのバージョンが更新されたことを確認してください。

adprep 完了後は十分に時間を置き、Active Directory の全てのドメインコントローラにスキーマの拡張情報が複製されたことを確認した後に、ドメインコントローラの追加作業を行ってください。

[参考情報]

<http://technet2.microsoft.com/WindowsServer/en/Library/5022eea0-54bc-422f-b98b-ddb836c8ee851033.mspx>

### 3. 高信頼性ツールに関する注意事項

保守に関わる重要なソフトウェア (RAID 管理ツール、RAS 支援サービス、サーバ監視ツール[ServerView]等) が導入されていない場合は、障害発生時の通知、不良部品の特定や復旧時間等において、導入済みシステムと比較して、大幅に時間を要する可能性があります。

Microsoft® Windows Server™2003, Standard x64 Edition または、Microsoft® Windows Server™2003, Enterprise x64 Edition をインストールする場合、高信頼性ツールは自動でインストールされません。本サーバ添付のユーザーズガイドの4章を参照して高信頼性ツールのインストールをされることを強く推奨します。

### 4. コンソールリダイレクションについて

本装置において、ServerViewに添付のRemote Control Serviceを使用してコンソールリダイレクションを行う場合、UPS/外部モデム装置などの機器の接続はシリアルコネクタ2(COM2)に接続してください。Remote Control Serviceについては『ServerView ユーザーズガイド』をご覧ください。

### 5. シリアルコネクタについて

PMAN モデル 100(PW-PM1CL2)、PMAN モデル 50(PW-PM2CL1)、電源制御ボックス (FMRP-202)を使用する場合は、シリアルコネクタ 2(COM2)に接続してください。

### 6. ServerView または RAID 管理ツール (Global Array Manager) のインストール・アンインストール後にエラー画面が表示された場合について (Windows Server 2003 の場合)

Windows Server 2003 の Service Pack 1 が適用されている状態で、ServerView または RAID 管理ツール (Global Array Manager) のインストール・アンインストールを行なった直後のシステム再起動時に、次のメッセージがポップアップされる場合があります。動作には問題ありませんので、[メッセージを閉じる]でメッセージを閉じてください。

コンピュータ保護のため、このプログラムは Windows により終了されました。  
名前: SNMP Service

### 7. ServerView が状態表示ランプ/故障ランプを点滅させる不具合について

サーバ管理ソフトウェア 『 ServerView 』を正常に動作させるためには、SNMP サービスが『 開始 』状態になっている必要があります。

SNMP サービスの停止 (未稼動) 状態など、下記の不具合発生条件を満たした場合、サーバ本体前面の状態表示ランプ/故障ランプが数時間後 (約4~5時間後) に点滅することがあります。

状態表示ランプ/故障ランプが点滅しますがハードウェア故障ではありませんので、ハードウェア故障を示すシステムイベントログは格納されません。

ServerView をインストールしている場合には、『 対応方法 』の確認を実施し、SNMP サービスを開始状態にしてください。

#### ・不具合発生条件

##### 1) OS が Windows。

Windows® 2000 Server  
Windows® 2000 Advanced Server  
Windows Server™ 2003, Standard Edition  
Windows Server™ 2003, Enterprise Edition

Windows Server™ 2003, Standard x64 Edition  
Windows Server™ 2003, Enterprise x64 Edition

※ Linux では、この不具合は発生しません。

2) サーバ管理ソフトウェア『ServerView』をインストールしている。

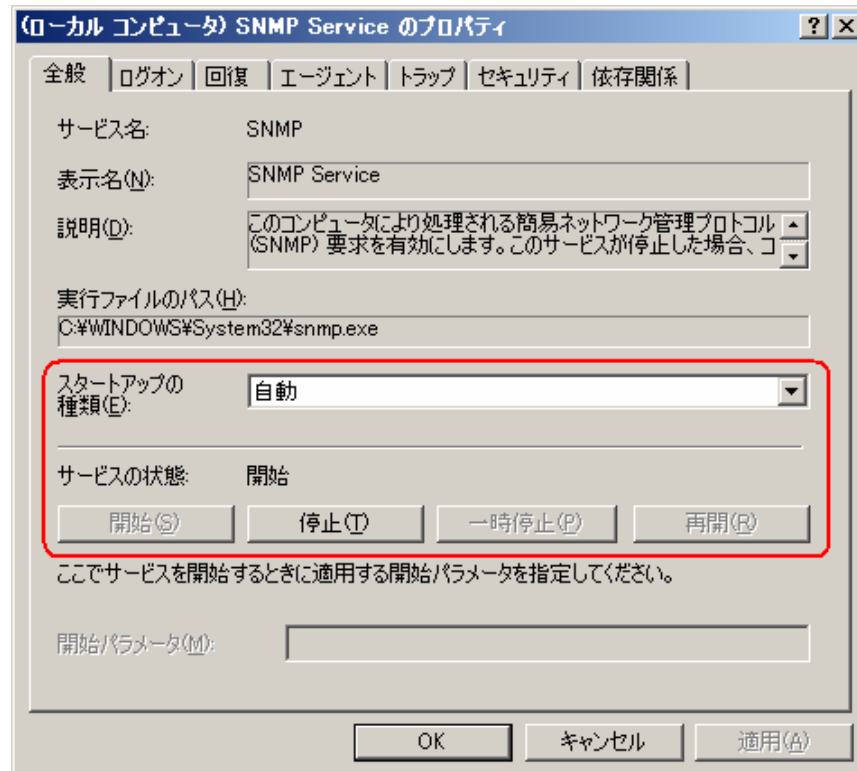
3) SNMP サービスが停止(未稼動)状態である。

手動で SNMP サービスを停止していないのに SNMP サービスが停止している場合は、SNMP サービスのスタートアップの種類が『自動』以外に設定されている可能性があります。

・ 対応方法

『コントロールパネル』→『管理ツール』→『サービス』を起動し、SNMP サービスのプロパティより、下記を確認してください。

- ・ スタートアップの種類が『自動』に設定されていますか？  
⇒ 設定されていない場合は、『自動』に設定してください。
- ・ SNMP サービスが開始状態になっていますか？  
⇒ 停止状態になっている場合は、『開始』ボタンを押し、開始状態にしてください。



## 8. ServerView Console プログラムの注意について

Windows システムにおいて、UPS によるシャットダウン処理または、UPS によるスケジュール運転を行う場合、スタートアップのショートカットに ServerView Console プログラム(SNISVIEW.EXE)を登録しないでください。システム起動時、正常に起動できない場合があります。

※UPS によるシャットダウン以外の場合、特に問題ありません。

※スタートメニューからの OS シャットダウン処理や ServerView console からのシャットダウンの場合、問題ありません。

## 9. PG-140D1 を搭載したシステムについての注意事項

PG-140D1 を搭載したシステムにおいて、On Board SCSI にハードディスク以外の装置を接続する場合には以下の注意事項がありますので、予めご了承ください。

### (1)接続できない装置

On Board SCSI に内蔵 LTO2ユニットを接続することはできません。SCSI カードを増設し、内蔵 LTO2ユニットを接続してください。

### (2)テープ装置共通の注意事項

BrightStor ARCserve Backup for Windows からテープ媒体の「ロング消去」を行うと、消去完了時に『E6300 Windows NT SCSI ポート エラーです。』が表示されます。消去自体は正常に行われます。

### (3)その他の注意事項

Linux 環境で、BrightStor ARCserve Backup for Linuxを使用することはできません。同ソフトウェアを使用する場合には、SCSI カードを増設してテープ装置を接続してください。

## 10. 「安全上の注意:B7FH-A033-02」についての訂正事項

### **訂正** 設置について（関連ページ P2）

誤) **禁止** 本体装置を持ち運ぶときは、必ず2人以上で行ってください。フロントドアがある装置は、フロントドアを持たないでください。フロントドアが外れ、装置が脱落したりしてけがの原因となります。また、故障の原因となります。

正) **禁止** 本体装置を持ち運ぶときは、下記の点に注意して作業を行ってください。

本体装置の重量	作業員の数
18kg以上	2人以上
36kg以上	3人以上
54kg以上	4人以上

また、フロントドアがある装置は、フロントドアを持たないでください。フロントドアが外れ、装置が脱落したりしてけがおよび故障の原因となります。

### **追加** 電源・電圧・接続について（関連ページ P2）

以下の記述を追加してお読みいただくようお願いします。

**禁止** 電源ケーブルを束ねて縛らないでください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

## 11. 「PRIMERGY TX200 S2 梱包物一覧:B7FH-A126-03」についての訂正事項

**訂正** 1 本体の箱で型名(タイプ)を確認してください

誤)

型名の表記	タイプ
<input type="checkbox"/> PGT20237S	
<input type="checkbox"/> PGT20237S2	Windows Server 2003
<input type="checkbox"/> PGT20217S3	アレイタイプ(73.4GB × 3)
<input type="checkbox"/> PGT20217S4	
<input type="checkbox"/> PGT20234S	Windows Server 2003
<input type="checkbox"/> PGT20234S2	アレイタイプ(146.8GB × 3)
<input type="checkbox"/> PGT2023GS	Windows Server 2003 インストールタイプ
<input type="checkbox"/> PGT2023GK	Windows 2000 Serverインストールタイプ
<input type="checkbox"/> PGT20237L	
<input type="checkbox"/> PGT20237L2	Linux サービスバンドル
<input type="checkbox"/> PGT20217L3	アレイタイプ(73.4GB × 3)
<input type="checkbox"/> PGT20217L4	
<input type="checkbox"/> PGT20234L	Linux サービスバンドル
<input type="checkbox"/> PGT20234L2	アレイタイプ(146.8GB × 3)
<input type="checkbox"/> PGT2023GL	Linux サービスバンドルタイプ
<input type="checkbox"/> PGT2023AA	
<input type="checkbox"/> PGT2021AA3	ディスクレスタイプ

正)

型名の表記	タイプ
<input type="checkbox"/> PGT2W237S5	Windows Server 2003 アレイタイプ(73.4GB × 2)
<input type="checkbox"/> PGT2W234S5	Windows Server 2003 アレイタイプ(146.8GB × 2)
<input type="checkbox"/> PGT2W237L5	Linux サービスバンドル アレイタイプ(73.4GB × 2)
<input type="checkbox"/> PGT2W234L5	Linux サービスバンドル アレイタイプ(146.8GB × 2)
<input type="checkbox"/> PGT2W23AA4	ディスクレスタイプ

→

**訂正** タイプ別添付品

ご購入のタイプにより、添付品が異なります。前項で確認した型名の下3桁が該当する欄をご確認ください。

誤)

●: 添付されています - : 添付されていません

添付品の名称	3GS	37S / 37S2 / 17S3 17S4 / 34S2 / 34S	3GK	3GL	37L / 37L2 / 17L3 17L4 / 34L2 / 34L
<input type="checkbox"/> Windows Server 2003(一式)(*)	●	●	-	-	-
<input type="checkbox"/> Windows 2000 Server(一式)(*)	-	-	●	-	-
<input type="checkbox"/> Linux(一式)(*)	-	-	-	●	●
<input type="checkbox"/> SCSI アレイコントローラカード添付品(一式)	-	●	-	-	●

正)

●: 添付されています - : 添付されていません

添付品の名称	7S5 / 4S5	7L5 / 4L5
<input type="checkbox"/> Windows Server 2003(一式)(*)	●	-
<input type="checkbox"/> Linux(一式)(*)	-	●
<input type="checkbox"/> SCSI アレイコントローラカード添付品(一式)	●	●

## 12. 「PRIMERGY TX200 S2 ユーザーズガイド:B7FH-3021-03」についての訂正事項

**訂正** ユーザーズガイド全体

■本サーバでは下記のオプションは未サポートとなっておりますので、マニュアル内の下記オプションに関する記述は無視してお読みくださるようお願いいたします。

- ・基本ドライブケージ変換機構
- ・3.5 インチ光磁気ディスクユニット(FMPD-455S)
- ・G3/G4FAX カード(GP5-161)

■本文中の以下の表現を読み替えてください。

誤)PG-FC106

正)PG-FC107

**訂正** 1 章「1.1 TX200 S2 のご紹介」(関連ページ P17)

誤) ●メモリは最大 **6GB**

メモリは標準で 512MB 搭載しており、3 つのメモリバンクに最大 **6GB** まで拡張できます。

正) ●メモリは最大 **12GB**

メモリは標準で 512MB 搭載しており、3 つのメモリバンクに最大 **12GB** まで拡張できます。

**訂正** 1 章「1.2.2 高信頼ツールの紹介」(関連ページ P22)

■運用管理支援ツール

誤) ●テープ装置の管理 [**Tape Maintenance Checker**]

テープ装置のクリーニング間隔を監視し、クリーニングが必要な場合に管理者へ通知します。

これにより、確実なバックアップを実現します。

正) ●テープ装置の管理 [**Tape Maintenance Advisor**]

テープ装置の定期的なメディア交換やクリーニングといったメンテナンス時期を管理者へ通知します。

これにより、確実なバックアップを実現します。

**訂正** 1 章「1.2.3 高信頼ツールの導入について」(関連ページ P25)

表:高信頼ツールのインストール

誤)

高信頼ツール	一括インストール	OSインストールタイプ	
		ServerStart開封	手動開封
<u>Tape Maintenance Checker</u>	×	×	×

正)

高信頼ツール	一括インストール	OSインストールタイプ	
		ServerStart開封	手動開封
<u>Tape Maintenance Advisor</u>	△	△	×

**訂正** 2 章「2.1.1 内蔵オプションの取り付け」(関連ページ P49)

誤) ■メモリ搭載時の注意

本サーバでは、メモリは最大 **6GB** までサポートしますが、使用する OS によって搭載可能容量が異なります。また、サーバは、一部のメモリ領域を PCI リソースに使用するため、使用可能容量に制限があります。以下にメモリの搭載可能容量と使用可能容量を示します。

表：メモリの搭載可能容量と使用可能容量

OS	搭載メモリ容量	使用可能メモリ容量
Windows 2000 Server [注1] Windows Server 2003, Standard Edition [注1]	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
	3.5 ～ 4.0 GB	搭載メモリ容量－ (0.1 ～ 0.6 GB) [注2]
Windows 2000 Advanced Server Windows Server 2003, Enterprise Edition	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
	3.5 ～ <b>6.0 GB</b>	搭載メモリ容量－ (0.1 ～ 0.6 GB) [注2]

[注1]：Windows 2000 Server、Windows Server 2003, Standard Edition では、最大 4GB までサポートします。

**[注2]：PCI リソースとして 0.1～ 0.6 GB 使用するので、搭載するカードの種類によって使用可能メモリは変動します。**



正) ■メモリ搭載時の注意

本サーバでは、メモリは最大 **12GB** までサポートしますが、使用する OS によって搭載可能容量が異なります。また、サーバは、一部のメモリ領域を PCI リソースに使用するため、使用可能容量に制限があります。以下にメモリの搭載可能容量と使用可能容量を示します。

表：メモリの搭載可能容量と使用可能容量

OS	搭載メモリ容量	使用可能メモリ容量
Windows 2000 Server [注1] Windows Server 2003, Standard Edition [注1] <b>Windows Server 2003 R2, Standard Edition [注1]</b>	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
	3.5 ～ 4.0 GB	搭載メモリ容量－ (PCIリソース使用量) [注2]
Windows 2000 Advanced Server	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
	3.5 ～ <b>8.0 GB</b>	搭載メモリ容量－ (PCIリソース使用量) [注2]
Windows Server 2003, Enterprise Edition <b>Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition</b>	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
	3.5 ～ <b>12.0 GB</b>	搭載メモリ容量－ (PCIリソース使用量) [注2]

[注1]：Windows 2000 Server、Windows Server 2003, Standard Edition では、最大 4GB までサポートします。

[注2]：搭載するカードの種類によって使用可能メモリは変動します。PCI リソースとして使用される容量は 0.1～ 0.9 GB 程度です。

**訂正** 5 章「5.5.2 Service Pack の適用」(関連ページ P176)

本節は下記のようにお読み替えいただくようお願いいたします。

Windows Server 2003、Windows 2000 Server の場合は、Service Pack を適用します。

本体に添付の Windows サービスパック CD-ROM には、以下の Service Pack が格納されています。

- ・ Microsoft® Windows Server™ 2003 Service Pack 1
- ・ Microsoft® Windows® 2000 Service Pack 4

なお、Windows 2000 Server タイプには、あらかじめ Service Pack 4 がインストールされています。

この Service Pack より新しい Service Pack が提供されている場合は、新しい Service Pack の README.TXT を参照してインストールしてください。

Windows サービスパック CD-ROM に格納されている Service Pack を適用する場合は、CD-ROM 内の以下のファイルを起動してください。

- ・ **Microsoft® Windows Server™ 2003 Service Pack 1 の場合**  
"WINDOWSSERVER2003-KB889101-SP1-X86-JPN.exe"
- ・ **Microsoft® Windows® 2000 Service Pack 4 の場合**  
"w2ksp4.exe"

**重要**

Microsoft® Windows Server™ 2003 Service Pack 1 を適用する場合は、必ず以下の URL でサーバ本体、周辺機器、各種ソフトウェアの対応状況及び留意事項をご確認の上、適用いただけますようお願いいたします。

【URL】

Microsoft® Windows Server™ 2003 SP1 動作確認情報  
[http://www.fmworld.net/biz/primergy/wins2003\\_sp1/](http://www.fmworld.net/biz/primergy/wins2003_sp1/)

【オールインワンタイプに添付されるソフトウェア】

PowerChute® Business Edition  
BrightStor® ARCserve® Backup  
ServerProtect (\*1)

(\*1)1way オールインワンタイプには添付されておりません。

**訂正** 5章「5.7.1 Intel(R) PROSetのインストール」(関連ページP185)

誤) 1 ServerStart CD-ROM 内の以下のEXE を起動します。

Windows Server 2003 の場合

[CD-ROMドライブ]:¥Tools¥GENERAL¥Intel¥ProsetW2k3¥Proset.exe

Windows 2000 Server の場合

[CD-ROMドライブ]:¥Tools¥GENERAL¥Intel¥ProsetW2k¥

正) 1 ServerStart CD-ROM 内の以下のEXE を起動します。

[CD-ROMドライブ]:¥Tools¥GENERAL¥Intel¥ProSet¥Ws03xp2k¥ProSet.EXE

**訂正** 6章(関連ページP212)

誤) 6.9 テープ装置のメンテナンス[Tape Maintenance Checker]

Tape Maintenance Checkerを標準のインストーラでインストールするには、次の操作を行います。

正) 6.9 テープ装置のメンテナンス[Tape Maintenance Advisor]

Tape Maintenance Advisorを標準のインストーラでインストールするには、次の操作を行います。

誤) 4 「名前」に以下のように入力し、[OK]をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥PROGRAMS¥Japanese¥TMCHECK¥Setup.exe

正) 4 「名前」に以下のように入力し、[OK]をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥PROGRAMS¥Japanese¥TmAdvisor¥Setup.exe

**訂正** 7章「7.3.2搭載可能なCPUと留意事項」(関連ページP224)

以下の CPU オプションが変更になります。

■搭載可能 CPU

本サーバでは、以下の CPU を搭載できます。

誤) 表: 搭載可能 CPU

品名	型名
Xeon プロセッサ 3.0GHz/2MB	PG-FG232
Xeon プロセッサ 3.2GHz/2MB	PG-FG233
Xeon プロセッサ 3.6GHz/2MB	PG-FG234
Xeon プロセッサ 3.0GHz/1MB	PG-FG202

→

正) 表: 搭載可能 CPU

品名	型名
Xeon プロセッサ 3.0GHz/2MB	PG-FG232

**追加** 7章「7.4.2 取り付け可能なメモリと留意事項」(関連ページ P234)

以下の拡張 RAM モジュールが追加になります。

■使用可能メモリ

本サーバに使用できるメモリには、次の種類です。

表: 使用できるメモリー一覧

型名	備考
拡張RAM モジュール-4GB (PG-RM4AE)	4GB(2GB- DIMM 2枚)

**追加** 7 章「7.6.2 取り付け可能な内蔵ハードディスクユニット」(関連ページ P253)

以下の内蔵ハードディスクユニットが追加になります。

■取り付け可能な内蔵ハードディスクユニット

本サーバに取り付けられる内蔵ハードディスクユニットは、以下の SCSI ハードディスクです。

表:使用できる内蔵ハードディスク一覧

ディスク容量	型番	概要
146.8GB	PG-HDH45V	Ultra320 SCSI、15,000rpm

**訂正** 7 章「7.7.2 取り付け可能な内蔵 5 インチオプションと留意事項」(関連ページ P261)

■取り付け可能な 5 インチオプション

本サーバに取り付けられる内蔵 5 インチオプションは、以下のとおりです。

誤) 表:取り付け可能な内蔵 5 インチオプション

品名	型名	搭載可能 ベイ位置
内蔵DAT72ユニット	PG-DT501	ベイ2、3
内蔵VXA2ユニット	PG-VX201	ベイ2、3
内蔵LTOユニット	PG-LT101	ベイ2、3
内蔵光磁気ディスクユニット (GigaMO)	PG-PD240B	ベイ2、3
内蔵DAT72 オートローダ	PG-DTA103	ベイ2、3
内蔵ハードディスクユニット トベイ変換機構	PG-BC102	ベイ2、3
内蔵DVD-RAMユニット	PG-DVA101D	ベイ1

正) 表:取り付け可能な内蔵 5 インチオプション

品名	型名	搭載可能 ベイ位置
内蔵DAT72ユニット	PG-DT501	ベイ2
内蔵VXA2ユニット	PG-VX201	ベイ2
内蔵LTO2ユニット	PG-LT201	ベイ2
内蔵LTO3ユニット	PG-LT301	ベイ2、3
内蔵ハードディスクユニット トベイ変換機構	PG-BC102	ベイ2、3

**追加** 8 章「8.2.2 Main メニュー」(関連ページ P292)

BIOS Setup の Main Menu - Boot Option に以下の項目が追加されました。

NumLock ■Auto, □On, □Off ※■:工場出荷設定

**訂正** 付録「A 本体仕様」(関連ページ P360～365)

以下のタイプになります。

表:本体仕様ーディスクレスタイプ/SCSIアレタイプ

項目		機能・仕様				
タイプ(型名)		ディスクレス タイプ (PGT2W23AA4)	Windows 2003 アレイタイプ (PGT2W237S5)	Windows 2003 アレイタイプ (PGT2W234S5)	Linux アレイタイプ (PGT2W237L5)	Linux アレイタイプ (PGT2W234L5)
CPU	標準	64ビットインテル® Xeon® プロセッサ 3E GHz / 2MB				
	マルチ数	2				
メモリ	標準	512MB (256MB DDRI 333 SDRAM-DIMM × 2 枚)				
	増設単位	512MB / 1GB / 2GB / <b>4GB</b> (DIMM 2 枚)				
	最大容量	<b>12GB</b> (2GB DIMM 使用時)				
グラフィックス		VGAチップ:ATI RAGE XL 648 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色:解像度、OSなどによって異なる				
5インチ ストレージベイ		3ベイ(標準搭載含む) 種類:CD-ROM、DVD-RAM、DAT72、光磁気ディスク、VXA2、LTO、LTO2、 DAT72 オートローダ、ハードディスクユニットベイ変換機構				
	標準搭載	24倍速薄型EIDE CD-ROM ユニット				
3.5 インチ ストレージベイ		6 ベイ(内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構時9 ベイ)				
	標準	-	73GB (10,000rpm Ultra320 SCSI SCA) × 2	147GB (10,000rpm Ultra320 SCSI SCA) × 2	73GB (10,000rpm Ultra320 SCSI SCA) × 2	147GB (10,000rpm Ultra320 SCSI SCA) × 2
	増設単位	73.4GB / 146.8GB / 300GB (10,000rpm Ultra320 SCSI SCA) 73.4GB / <b>146.8GB</b> (15,000rpm、Ultra320 SCSI SCA)				
	内蔵最大	2700GB (300GB × 9)				
ディスクアレイ		-	標準 (PG-140D1)			
拡張スロット		PCIスロット × 5 (64bit/133MHz × 2 / 64bit/100MHz × 2 / 32bit33MHz × 1)				
標準搭載PCIカード		-	PG-140D1			
フロッピーディスク ドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載				
インタフェース		LAN (1Gbit Ethernet) × 1 (ベースボード標準搭載)、シリアル × 2、 パラレル × 1 (オプション)、キーボード、マウス、モニタ、USB × 3				
キーボード/マウス		標準添付				
外形寸法 (mm) (横幅 × 奥行 × 高さ)		286 × 753 × 474				
質量		40kg				
内蔵時計精度		誤差 2～ 3分/月				
消費電力		最大550W / 最大1980kJ/h				
電源		AC100V (50/60Hz) / 二極接地型				
電源ユニット		標準で 1台、最大 2 台				
ファン		標準2 個、最大4個				
エネルギー消費効率 [注1]		64 ビットインテル® Xeon®プロセッサ3E GHz / 2MB:G区分、0.0121				
サポート OS		Windows Server 2003, Standard Edition / Windows Server 2003, Enterprise Edition <b>Windows Server 2003, Standard x64 Edition / Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition</b> Windows Server 2003, Standard Edition / Windows Server 2003, Enterprise Edition <b>Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition</b> Windows 2000 Server / Windows 2000 Advanced Server Red Hat Enterprise Linux AS / Red Hat Enterprise Linux ES				

注 1: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

**訂正** 付録「B.1 CPU」(関連ページP366)

以下のように変更になります。

誤)

表:CPU 仕様

型名	PG-FG232	PG-FG233	PG-FG234	PG-FG202
動作クロック周波数	3EGHz	3.20EGHz	3.60EGHz	3DGHZ
内蔵2 次キャッシュサイズ	2MB			1MB

正)

表:CPU 仕様

型名	PG-FG232
動作クロック周波数	3EGHz
内蔵2 次キャッシュサイズ	2MB

**追加** 付録「B.2 メモリおよびB.3 内蔵ハードディスクユニット」(関連ページP366-367)

以下の拡張 RAM モジュールおよび内蔵ハードディスクユニットが追加になります。

表:メモリ仕様

型名	PG-RM4BC
容量	4GB
動作クロック周波数	333MHz (デュアルエッジ)
PIN数	184 ピン

表:内蔵ハードディスクユニット仕様

型名	PG-HDH31K	PG-HDH45V
インタフェース	Ultra320 SCSI	
記憶媒体	3.5 インチハードディスク	
記憶容量[注1]	146.8GB	
最大データ転送速度	320MB/s(Ultra320 ・Wide)	
平均回転待ち時間	2.00ms	
回転数	15,000rpm	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注2]	0.08 (F 区分)	
外形寸法(W × D × H)	101.6 × 146.0 × 25.4(mm)	
質量[注3]	0.68kg	

注 1: 記憶容量は、フォーマット時、1GB＝ 1000<sup>3</sup>byte 換算です。

注 2: 1GB あたりの消費電力です。

注 3: ホットプラグ用キャリアを含みません。

### 13. 「PRIMERGY TX200 S2 プレインストールドライバ情報:B7FH-3011-02」についての訂正事項

■ Windows Server™ 2003 インストールタイプ

・ サーバ本体

デバイス	格納フォルダ	名称	更新日時		サイズ (byte)
			日付	時間	
内蔵 CD-ROM ドライブユニット	%Systemroot%\system32\drivers	cdrom.sys	2003/03/26	12:00:00	50,688
		redbook.sys	2003/03/25	19:40:30	58,368
		atapi.sys	2003/03/24	23:04:52	91,136
オンボード LAN	%Systemroot%\system32\drivers	b57xp32.sys	2005/03/08	8:07:46	128,384
グラフィックコントローラ	%Systemroot%\system32\drivers	ati2mpad.sys	2003/03/25	19:40:54	343,040
	%Systemroot%\system32	ati2drad.dll	2003/03/25	19:56:28	353,920
USB コントローラ	%Systemroot%\system32\drivers	usbuhci.sys	2003/03/24	23:10:46	20,096
		usbehci.sys	2003/03/24	23:10:44	19,968
		usbhub.sys	2003/03/24	23:10:48	54,784
オンボード SCSI	%Systemroot%\system32\drivers	symmpi.sys	2003/10/08	08:45:34	40,448

・ オプション装置(カスタムメイドサービスにてご購入時)

デバイス	格納フォルダ	名称	更新日時		サイズ (byte)
			日付	時間	
SCSI アレイコントローラカード (PGB140D1 / PGB142E3B / PGB142E3)	%Systemroot%\system32\drivers	mraid35x.sys	2004/08/03	13:32:32	26,112
LAN カード (PGB1852 / PGB1892)	%Systemroot%\system32\drivers	e1000325.sys	2004/09/15	7:41:36	171,008
ファアーバーチャネルカード (PGBFC106 / PGBFC107)	%Systemroot%\system32\drivers	lpxftr.sys	2005/03/18	21:12:56	13,824
	%Systemroot%\system32\drivers	lpxnnds.sys	2005/03/18	21:12:15	123,392
SCSI カード(PGB128)	%Systemroot%\system32\drivers	adpu160m.sys	2003/03/24	23:13:04	102,016
内蔵 DVD-RAM ドライブ ユニット(PGBDVAU101)	%Systemroot%\system32\drivers	cdrom.sys	2003/03/26	12:00:00	50,688
		redbook.sys	2003/03/25	19:40:30	58,368
		atapi.sys	2003/03/24	23:04:52	91,136
内蔵光磁気ディスク ユニット(PGBPD240C)	%Systemroot%\system32\drivers	Disk.sys	2003/03/26	12:00:00	37,888
内蔵 DAT72 ユニット (PGBDT501C)	%Systemroot%\system32\drivers	Hpdatsys	2003/01/23	19:40:30	58,368
内蔵 LTO ユニット (PGBLT101C)	%Systemroot%\system32\drivers	Ltotape.sys	2003/03/24	23:04:52	8,192
内蔵 LTO2 ユニット (PGBLT201C)	%Systemroot%\system32\drivers	tnbg_lto.sys	2005/01/05	10:28:00	5,261

## 14. 「PRIMERGY TX200 S2(Windows Server™ 2003 x64 Editions 用)ユーザーズガイド:B7FH-3591-01」についての訂正事項

### 訂正 ユーザーズガイド全体

- 本サーバでは下記のオプションは未サポートとなっておりますので、マニュアル内の下記オプションに関する記述は無視してお読みくださるようお願いいたします。

・基本ドライブケース変換機構

- 本文中の以下の表現を読み替えてください。

誤) ドライバーズ CD

正) ServerStart CD

誤) PG-FC106

正) PG-FC107

### 訂正 1 章「1.1 TX200 S2 のご紹介」(関連ページ P15)

誤) ●メモリは最大 6GB

メモリは標準で 512MB 搭載しており、3 つのメモリバンクに最大 6GB まで拡張できます。

正) ●メモリは最大 12GB

メモリは標準で 512MB 搭載しており、3 つのメモリバンクに最大 12GB まで拡張できます。

### 訂正 2 章「2.1.1 内蔵オプションの取り付け」(関連ページ P41)

誤) ■メモリ搭載時の注意

本サーバでは、メモリは最大 6GB までサポートしますが、一部のメモリ領域を PCI リソースに使用するため、使用可能容量に制限があります。以下にメモリの搭載可能容量と使用可能容量を示します。

表：メモリの搭載可能容量と使用可能容量

OS	搭載メモリ容量	使用可能メモリ容量
Windows Server 2003, Standard x64 Edition	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition	4.0 ～ <u>6.0 GB</u>	搭載メモリ容量－ (0.1 ～ 0.6 GB) [注1]

[注1]：PCI リソースとして 0.1～ 0.6 GB 使用するので、搭載するカードの種類によって使用可能メモリは変動します。

正) ■メモリ搭載時の注意

本サーバでは、メモリは最大 12GB までサポートしますが、一部のメモリ領域を PCI リソースに使用するため、使用可能容量に制限があります。以下にメモリの搭載可能容量と使用可能容量を示します。

表：メモリの搭載可能容量と使用可能容量

OS	搭載メモリ容量	使用可能メモリ容量
Windows Server 2003, Standard x64 Edition	～ 3.0 GB	搭載メモリ容量と同じ
Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition	4.0 ～ <u>12.0 GB</u>	搭載メモリ容量－ (0.1 ～ 0.6 GB) [注1]

[注1]：搭載するカードの種類によって使用可能メモリは変動します。PCI リソースとして使用される容量は 0.1～ 0.9 GB 程度です。

### **訂正** 3 章「3.2 ドライバディスクの作成」(関連ページ P50)

「3.2 ドライバディスクの作成」については、サーバ本体添付の ServerStrat から作成できるように変更されています。「PRIMERGY TX200 S2 ユーザーズガイド:B7FH-3021-03」の「4.2 ドライバディスクの作成」(関連ページ P133～138)を参照して、必要なドライバディスクを作成してください。

ドライバディスクの作成が必要なのは以下の通りです。

- 1) SCSI アレイコントローラカード (PG-140D1/PG-142E3)
- 2) オンボード LAN、LAN カード (PG-1852/PG-1862/PG-1882/PG-1892)
- 3) ファイバーチャネルカード (PG-FC107)
- 4) SAF-TE ドライバ

その他に関しては OS 標準提供のドライバをご使用するか、拡張カードについてはカード添付のドライバをご使用ください。

### **訂正** 3 章「3.3.1 Windows Server 2003 x64 のインストール」(関連ページ P53)

- 誤) 8 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。  
9 「検索場所のオプション」に「CD-ROM ドライブ」のみを選択し、[次へ]をクリックします。  
10 「別のドライバを 1 つインストールする」を選択し、[次へ]をクリックします。

- 正) 8 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ]をクリックします。  
9 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をクリックします。  
手順10 「別のドライバを…」から始まる手順を削除します。手順9を実施のあとは、手順11へ進んでください。

### **訂正** 4 章「4.1.1 RAID 管理ツール(Global Array Manager)のインストール」(関連ページ P58)

- 誤) 2 ドライバズ CD をセットし、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
3 「名前」に以下を入力し、[OK]をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥PROGRAMS¥GENERAL¥LSI¥GAMx64¥install.bat

- 正) 2 ServerStart CD をセットし、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。  
3 「名前」に以下を入力し、[OK]をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥PROGRAMS¥GENERAL¥LSI¥GAM¥install.bat

### **追加** 4 章 高信頼性ツール(関連ページ P57)

下記の節を追加してお読みいただくようお願いいたします。

#### **4.6 保守支援ツール[HRM/server]**

HRM/server は、システムの安定稼動を目的とし、保守作業の迅速かつ確実な実施を支援するソフトウェアです。

##### ■HRM/server のインストール

HRM/server をインストールする場合は、ドキュメント&ツール CD の以下に格納されている『HRM/server for PRIMERGY (Windows)』を参照してください。

[CD-ROM ドライブ]:¥HRM¥iasv\_hrm\_install.pdf

##### **重要**

HRM/server を使用するには、ServerView がインストールされている必要があります。



## ■使用方法

HRM/server を使用するために必要な環境や、使用方法については、ドキュメント&ツール CD の以下に格納されている『HRM/server for PRIMERGY (Windows)』を参照してください。

[CD-ROM ドライブ]:¥HRM¥iasv\_hrm\_install.pdf

## Point

- 『HRM/server for PRIMERGY (Windows)』の各参照先
  - ⇒動作環境→「1.1 動作環境」
  - ⇒設定方法→「1.2.2 インストール後の設定」
  - ⇒起動・停止方法→「1.3 HRM/server の起動と停止」

## 追加 5 章 OS インストール後の操作 (関連ページ P67～)

### 保守ツールの作成について

Server Management Tools等の保守ツールを作成する場合は、「PRIMERGY TX200 S2 ユーザーズガイド:B7FH-3021-03」の「5.4 保守ツールの作成」(関連ページ P170～174)を参照願います。

## 訂正 5 章「5.5.1 BACS のインストール」(関連ページ P81)

誤) [CD-ROM ドライブ]:¥LAN¥BCOM¥Mgmtapps815¥x64¥setup.exe

正) [CD-ROM ドライブ]:¥PROGRAMS¥GENERAL¥Broadcom¥MgmtApps\_x64¥setup.exe

## 訂正 5 章「5.6.1 Intel® PROSet のインストール」(関連ページ P84)

誤) [CD-ROM ドライブ]:¥LAN¥INTEL¥APPS¥ProSET¥WS03\_32E¥Proset.exe

正) [CD-ROM ドライブ]: ¥Tools¥GENERAL¥Intel¥ProSet¥Ws03\_32e¥PROSet.exe

誤) 4 [次へ]をクリックします。  
5 「標準」をクリックして[次へ]をクリックします。  
以降は、画面の指示にしたがって操作してください。

正) 4 「標準」をクリックして[次へ]をクリックします。  
5 [インストール]をクリックします。  
6 [完了]をクリックします。  
以降は、画面の指示にしたがって操作してください。

## 訂正 6 章「6.3.2 搭載可能な CPU と留意事項」(関連ページ P100)

### ■搭載可能 CPU

本サーバでは、以下の CPU を搭載できます。

誤) 表: 搭載可能 CPU

品名	型名
Xeon™ プロセッサ 3.0GHz/2MB	PG-FG232
Xeon™ プロセッサ 3.2GHz/2MB	PG-FG233
Xeon™ プロセッサ 3.6GHz/2MB	PG-FG234

→

正) 表: 搭載可能 CPU

品名	型名
Xeon プロセッサ 3.0GHz/2MB	PG-FG232

**追加** 6 章「6.4.2 取り付け可能なメモリと留意事項」(関連ページ P107)

以下の拡張 RAM モジュールが追加になります。

■使用可能メモリ

本サーバに使用できるメモリには、次の種類です。

表:使用できるメモリー一覧

型名	備考
拡張RAM モジュール-4GB (PG-RM4AE)	4GB(2GB- DIMM 2枚)

**追加** 6 章「6.6.2 取り付け可能な内蔵ハードディスクユニット」(関連ページ P124)

以下の内蔵ハードディスクユニットが追加になります。

■取り付け可能な内蔵ハードディスクユニット

本サーバに取り付けられる内蔵ハードディスクユニットは、以下の SCSI ハードディスクです。

表:使用できる内蔵ハードディスク一覧

ディスク容量	型番	概要
146.8GB	PG-HDH45V	Ultra320 SCSI、15,000rpm

**訂正** 6 章「6.7.2 取り付け可能な内蔵 5 インチオプションと留意事項」(関連ページ P132)

■取り付け可能な 5 インチオプション

本サーバに取り付けられる内蔵 5 インチオプションは、以下のとおりです。

誤) 表:取り付け可能な内蔵 5 インチオプション

品名	型名	搭載可能 ベイ位置
内蔵DAT72ユニット	PG-DT501	ベイ2、3
内蔵LTOユニット	PG-LT101	ベイ2、3
内蔵ハードディスクユニット トベイ変換機構	PG-BC102	ベイ2、3

→

正) 表:取り付け可能な内蔵 5 インチオプション

品名	型名	搭載可能 ベイ位置
内蔵DAT72ユニット	PG-DT501	ベイ2
内蔵VXA2ユニット	PG-VX201	ベイ2
内蔵LTO2ユニット	PG-LT201	ベイ2
内蔵LTO3ユニット	PG-LT301	ベイ2、3
内蔵ハードディスクユニット トベイ変換機構	PG-BC102	ベイ2、3

**追加** 7 章「7.2.2 Main メニュー」(関連ページ P152)

BIOS Setup の Main Menu – Boot Option に以下の項目が追加されました。

NumLock ■Auto, □On, □Off ※■: 工場出荷設定

**訂正** 付録「A. 本体仕様」(関連ページ P214)

PRIMERGY TX200W S2 の本体仕様に関しては、本紙の P12 「**訂正** 付録「A 本体仕様」(関連ページ P360～365)」を参照ください。

**訂正** 付録「B. 内蔵オプションの仕様」(関連ページ P215～P216)

以下のとおり訂正いたします。

B.1 CPU

誤)

表:CPU 仕様

型名	PG-FG232	PG-FG233	PG-FG234
動作クロック周波数	3EGHz	3.20EGHz	3.60EGHz
内蔵2 次キャッシュサイズ	2MB		

正)

表:CPU 仕様

型名	PG-FG232
動作クロック周波数	3EGHz
内蔵2 次キャッシュサイズ	2MB

B.2 メモリおよびB.3 内蔵ハードディスクユニット

以下の拡張 RAM モジュールおよび内蔵ハードディスクユニットが追加になります。

表:メモリ仕様

型名	PG-RM4BC
容量	4GB
動作クロック周波数	333MHz (デュアルエッジ)
PIN数	184 ピン

表:内蔵ハードディスクユニット仕様

型名	PG-HDH45V
インタフェース	Ultra320 SCSI
記憶媒体	3.5 インチハードディスク
記憶容量[注1]	146.8GB
最大データ転送速度	320MB/s (Ultra320 ･Wide)
平均回転待ち時間	2.00ms
回転数	15,000rpm
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注2]	0.08 (F 区分)
外形寸法(W × D × H)	101.6 × 146.0 × 25.4 (mm)
質量[注3]	0.68kg

注 1: 記憶容量は、フォーマット時、1GB = 1000<sup>3</sup>byte 換算です。

注 2: 1GB あたりの消費電力です。

注 3: ホットプラグ用キャリアを含みません。

以上